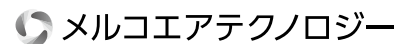


## 外壁用部材



## 防音形スクエアフード（雨滴音低減・給気専用）

## 防火ダンパー付防音形スクエアフード（雨滴音低減・給気専用）〈防火設備該当品〉

## 取扱説明書（据付説明書付）

この製品は、24 時間換気方式（第 3 種換気）で自然換気口の屋外側のダクト先端に据付けて使用するものです。

■防火ダンパー付は、ダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。

■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

## 据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

タイプ	適用パイプ口径 (mm)
AT-100	φ100
AT-150	φ150

●適用パイプ種類…スパイラルダクト、硬質ポリ塩化ビニル管（VU）、硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

※φ150タイプは硬質ポリ塩化ビニル管（VP）には据付けできません。

●温度ヒューズ公称動作温度  
72℃ ……形名の最後「D」

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	<b>禁止</b> ●防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因） ●常時振動したり、振動しやすい場所には据付けしない（落下によるけがの原因）
	<b>指示に従う</b> ●本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に（落下によるけがの原因） ●必ず定期的（1年以内ごと）に点検を行う

	<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	<b>指示に従う</b> ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）

## 据付け前の準備

据付け前に下記のものををご用意ください。

・シーリング材（JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系）

＜木ねじによる据付けを行う場合＞

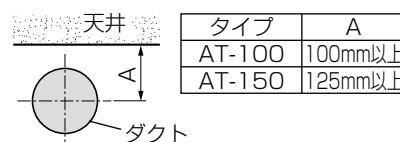
・ステンレス製木ねじ（呼び径3.5～3.8、長さ20mm以上）

※カールプラグは、金属製木ねじプラグ 品番 #8または、カールPCプラグ 品番6（木ねじの長さに合わせて選定してください）

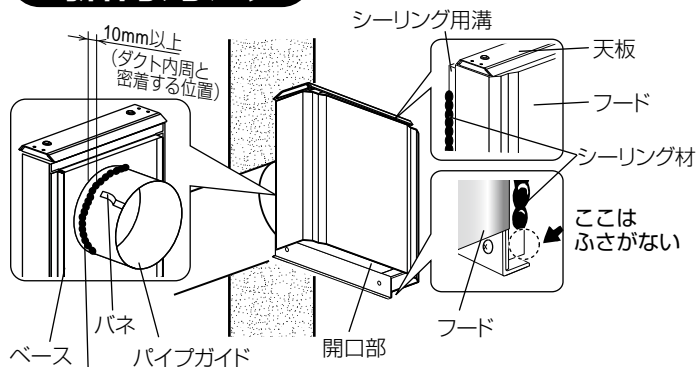
※腐食の発生原因となりますので、金属部品は必ずステンレス製をご使用ください。

## 据付け前のお願い

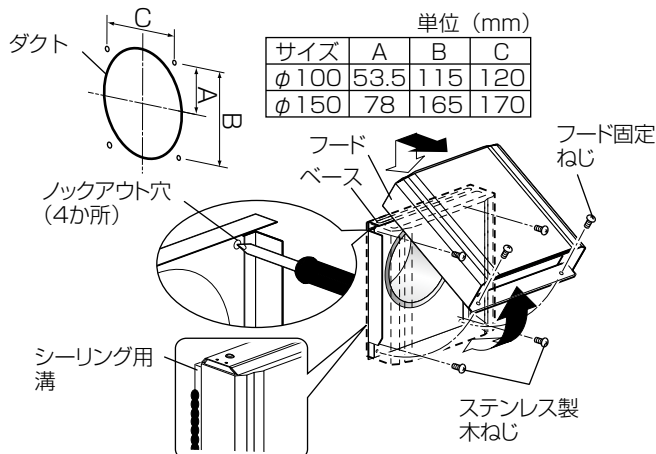
- 使用環境が-20℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- 重塩害エリアには、必ず重塩害グレード（受注対応品）をご使用ください。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害など）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
  - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
  - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
  - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
  - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
  - ・融雪剤が飛散する場所
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換・部品の交換が容易にできる場所へ据付けてください。
- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこう配をつけてください。（排気ダクト：1/100 以上、給気ダクト：1/30 以上）
- 気象状況によっては雨水が浸入するおそれがあります。
- 据付けに支障がないよう、ダクトが外壁面まで配管してあるか確認してください。外壁面より飛び出た部分は予め切断してください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装のはく離や製品各部の変色、腐食の原因となります。必ず下記の方法としてください。
  - ・タイル仕上げの外壁…必ずタイルの酸洗い後に製品を据付けてください。
  - ・吹付塗装仕上げの外壁…必ず吹付塗装後に製品を据付けてください。
 製品据付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生テープなどで養生してください。また、養生テープをはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。
- 網より小さい虫（ショウジョウバエ、ウンカなど）は侵入するおそれがあります。
- 下記条件に該当する場合は、必ず木ねじによる据付けを行ってください。
  - ・スプリングによる固定が困難な場合
  - ・外風が強い場所に据付ける場合
  - ・据付けが不安定な場所
- フードを取りはずすために、ダクト中心から天井までの距離を右図のように確保してください。



## 据付方法



シーリング材は幅5mm以上、高さ10mm以上を塗布する



## お願い

- バネで固定できない場所、据付けが不安定な場合や強い風が吹く可能性のある場所に据付ける場合は、ねじによる据付けを選定してください。

### 〔バネで固定する場合〕

1. フードを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)
2. 開口部が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込む。
3. ベースの上部と側面部のシーリング用溝にシーリング材を塗布する。(防水処理)  
※図のように側面下側のシーリング用溝端部はシーリング材でふさがないように注意してください。  
※シーリングをする際にフードにシーリング材が付着しないように注意してください。

### 〔ねじで固定する場合〕

1. 木ねじの据付位置は左図を参照する。  
※コンクリート壁面や木ねじによる固定が確保できない壁面などは、カールブラグをご使用ください。ご使用の際はカールブラグの注意事項を参照してください。
2. フード下部にある2本のフード固定ねじを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。
3. ベースのノックアウト据付用穴4か所をドライバー等で抜く。
4. ベースを据付ける前にパイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)
5. 開口部側が下側になるようにして、外壁面まで配管されたダクトに差し込み、市販のステンレス製木ねじ(4本)で確実に固定する。
6. ベースの全周(上部と側面部)のシーリング用溝にシーリング材を塗布する。(防水処理)  
※図のように側面下側のシーリング用溝端部はシーリング材でふさがないように注意してください。  
※シーリングをする際にフードにシーリング材が付着しないように注意してください。
7. フードをベース上部に引掛け、元通り取付ける。  
※1.4N・m以下の締付けトルクで締め付けてください。

## お願い

- シーリングをする際に天板とフードの間にシーリング材が入らないように注意してください。
- シーリング施工後、天板とフードが接着されていないか確認してください。
- フードが取付けられた状態でのシーリングが困難な場合は、フードをはずしてからシーリング施工してください。

## お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

### 点検項目

- 製品の据付状態は正常であるか？
- シーリング材に亀裂などの劣化はないか？
- ねじ類に緩みなどがないか？
- 製品各部に腐食や塗装の浮きなどがないか？
- 樹脂部品に割れなどがないか？
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じていないか？
- 温度ヒューズに著しい腐食(銅板が青緑色へ変色)の発生がないか？

※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買い上げの販売店、工事に依頼してください。

### 清掃

■塩害エリア・重塩害エリアや融雪剤の影響を受ける設置環境では、付着した塩分などを除去するために定期的(1年以内ごと)に水洗いを行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますと腐食の発生原因となります。

■網部に油やほこりが付着しますと換気風量の低下や換気扇の故障の原因となりますので約3か月に1度を目安に清掃を行ってください。

- 掃除機などでほこりを吸い取る。掃除機が届かない場合は細いブラシなどで網に付着したほこりを清掃する。
- 汚れのひどい場合は、以下どちらかの方法で清掃する。
  - ・中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう布などでふき取る。
  - ・網をはずして中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸してからきれいな水で洗い、よく乾かす。

※網のはずし方については温度ヒューズの交換を参考に実施してください。

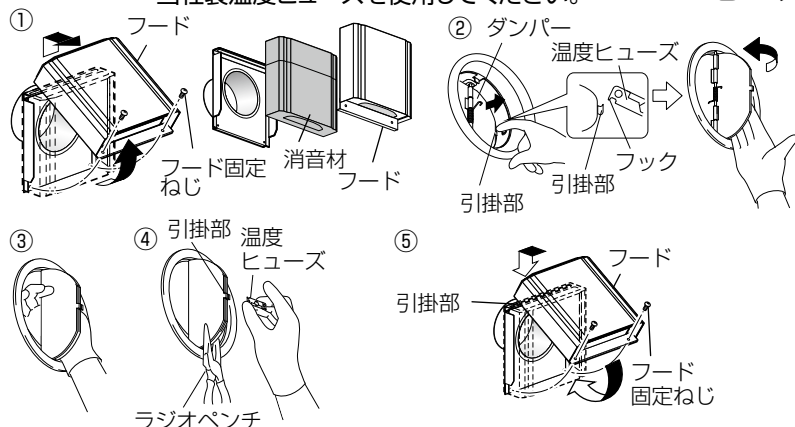
■清掃・修理などの際にはシンナー・アルコール・その他化学薬品(酸・アルカリ洗剤)などの溶剤等を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。

## 温度ヒューズの交換

### お願い

- 温度ヒューズは、指定された公称動作温度の当社製温度ヒューズを使用してください。

- 温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。取付け・交換はお買い上げの販売店、工事に依頼してください。
- はずしたねじはなくさないでください。(取付ける際に必要です)
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は①から⑤、温度ヒューズを交換する場合は手順①の後、④⑤を行ってください。



- ①フード下部にある2本のフード固定ねじを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。  
※フードを取りはずす際、消音材がはずれることがあります。消音材がはずれた場合は開口部が下側になるようにフード内に入れてください。
- ②開口部から手を入れて、ダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。
- ③開口部から手を入れて、もう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。
- ④両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときは、ラジオペンチ等を使用してください)
- ⑤フードをベース上部の引掛部に引掛け、元通り取付ける。  
※1.4N・m以下の締付けトルクで締め付けてください。  
※温度ヒューズの取付けが困難な場合は、製品を壁からはずして交換をしてください。交換後は、据付け時と同様の手順で据付けてください。

## メルコエアテクノロジー株式会社